

京都市主催の「耐震フェア」に出展

～「そうだったんだ！地震保険クイズ」で地震保険を啓発～

日本損害保険協会近畿支部京都損保会（会長：岡田 淳・損害保険ジャパン株式会社 理事 京都支店長）は、9月3日（木）～4日（金）にゼスト御池（京都市）で開催された京都市主催の「耐震フェア」に参加し、ブース出展を行いました。

本フェアは、京都市が、地震災害に強い歴史都市「京都」の実現を目指して、防災の日（9月1日）および防災週間（8月30日～9月5日）を機に、すまいの耐震化について市民に考えていただくことを目的に開催したものです。

当会ブースでは、落語家・笑福亭鶴瓶さんを広報キャラクターに起用した2026年度地震保険広報活動が8月27日から開始されたのにあわせて、「そうだったんだ！地震保険」をキャッチコピーにした笑福亭鶴瓶さんのポスター展示やCM動画の再生、地震保険の制度概要や耐震割引を解説したパネルの掲示を行うとともに、来場者向けの「そうだったんだ！地震保険クイズ」を実施しました。

クイズに挑戦した来場者からは、「地震保険で支払われる保険金が生活費にも使えるとは知りませんでした。」「昨年も参加しましたが、今年も自分の知識を確認しに来ました。」「豪雨災害に気をとられていたましたが、地震のことを忘れてはいけません。自分の契約を確認してみます。」「といった声があるなど、地震保険の制度概要や被災後の経済的な備えとして必要な保険であることを理解いただく貴重な機会となりました。

京都損保会では2021年6月に京都市と「損害保険に関する連携・協力についての包括連携協定」を締結しており、引き続き、京都市と連携して地域防災力の向上に取り組んでいきます。



出展ブースの様子



来場者に説明する様子①



来場者に説明する様子②